

池の周りの昆虫

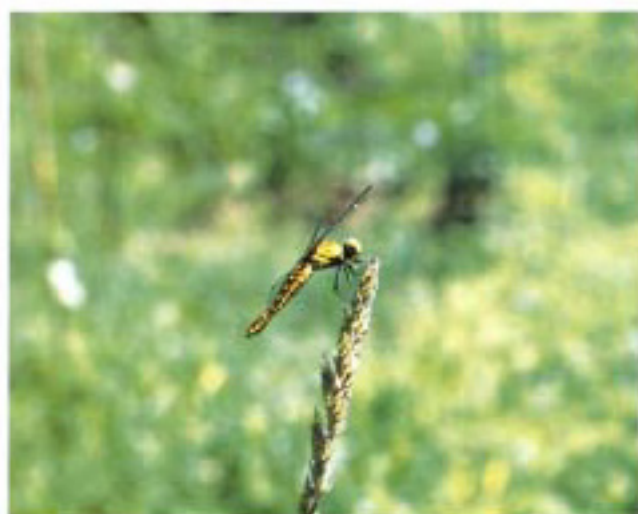
水辺の昆虫

小田の池のような水の豊富な場所には、あたり前のことですが、水を好む昆虫が多く見られます。

水辺の昆虫として最も親しまれているのはトンボの仲間でしょう。小田の池では、湖面が広がる場所にはヤンマやサナエなどの比較的大型のトンボが、湿原の細い流れの周辺にはアカトンボと呼ばれるアカネの仲間やイトトンボの仲間などが見られます。

硬い翅をもつ甲虫の仲間も多く、水中や水面にはミズスマシやゲンゴロウの仲間が泳ぎ、水際の砂浜となった場所には、ゴミムシの仲間やメダカハネカクシの仲間などが走り回っています。

また、湿原に生育する植物には、ハムシの仲間などが暮らしています。



ハラビロトンボ

セアカオサムシ

草原性の小型のオサムシです。くじゅう山群などの草原に住んでいます。



クロルリトゲハムシ

湿原内のイネ科植物に見られます。湿原の虫と言えるでしょう。



ヒゲナガハナノミ

湿地に見られる虫で、県内各地の湿原で見ることができます。



メダカハネカクシの仲間

湖周辺の波打ち際を走り回っている小さな虫です。右がフタホシメダカハネカクシ、左は不明種です。



草原の昆虫

小田の池の周辺には、広々とした草原が広がっていますが、そこを住家とする昆虫にも特徴のあるものが見られます。

オレンジ色の地に黒い模様をちりばめたヒョウモンチョウの仲間は、草原を住家とする蝶の代表です。

ビロードの翅に蛇の目模様をもったジャノメチョウ蝶にしては太い胴をもつセセリチョウの仲間、英語でブルー（Blue）と呼ばれるシジミチョウの仲間など、草原性の昆虫が数多く見られます。

また、草原の中に点在する低木には、葉や花を目当てにたくさんの昆虫が集まります。

ノリウツギの花に集まるハナカミキリやハナムグリ、ヤナギの葉を食べるヤナギハムシなど多くの昆虫が生活しています。

小田の池の周りでは、豊かな自然環境に恵まれているため、たくさんの種類の昆虫を草原や湿原などで、数多く見ることができます。しかし、最近、以前は見ることのできたヒメシロチョウの姿を見かけなくなるなど、少し様子が変わってきているようにも感じます。

小田の池の自然環境も、少しずつ変わってきているのかもしれませんが、いつまでもたくさんの昆虫を見ることのできる場所であって欲しいと思います。



アオハムシ
春にミズキなどの花にたくさん集る非常にきれいな虫です。



ミヤマセセリ



カラスアゲハ



ミヤマカラスアゲハ



ウラギンスジヒョウモン



ヒメシロチョウ
県内では、最近では数が減ってきているようです。
小田の池周辺では、ここ数年、見ることができなくなっていました。



カミキリムシ類
左から、キクスイモドキカミキリ、ホタルカミキリ、セスジヒメハナカミキリ、チヤイロヒメハナカミキリ